

政党は「無所属」、
会派は「かつしか区民連合」で
活動中。



葛飾区議会議員

うてな 英明

区政レポート
2021年春号

【発行元】かつしか区民連合
〒124-8555 葛飾区立石5-13-1
葛飾区議会棟内

ひであき



令和3年第1回定例会 (2021年2月26日) 区政一般質問に登壇

1 新型コロナウイルス感染症の予防接種について

安心して接種できるよう、**事前に交渉・調整を入念に行い、区を挙げて取り組むべき!**

質問.1 予防接種の準備・実施に際しては、様々な状況を先読みした上での準備や相談窓口の設置など、事業の効率的かつスムーズな促進を図るためにも、しっかりと人材を質・量ともに揃えていくべき

答弁 必要な人員配置も含めて、庁内の協力体制の強化を図り、安心して接種できる運営体制を構築していく

質問.5 インターネットの予約を活用して、接種状況を管理する方法もあると思うが、優先順位の高い高齢者は、インターネットでの申し込みに慣れない可能性もあるので、電話など別の方法での予約の工夫をすべき

答弁 コールセンターで電話受付と、コールセンターでの予約システムへの入力代行を検討

質問.2 クーポンの発送についても様々な工夫が必要。1日に発送できる件数を超える可能性もあるため、郵便局との調整や交渉もすべき

答弁 混乱を招くことなく、対象となる区民一人一人に確実に接種券を届けるため、郵便局と入念に調整・交渉を進める

質問.6 多数の医療従事者を確保する方策の検討が必要。通常医療の提供体制を維持しながら、ワクチン接種を進めるべき。医師会任せにするのではなく、区としてできる支援策を練り、一緒に闘う姿勢を示すべき

答弁 医師会に必要な支援を行い、医療機関の負担軽減を図る。医師会との協力体制を一層強固なものにし、ともに立ち向かっていく

質問.3 接種場所の選定・検討など、早急に進める必要がある。基礎疾患のある方への接種は、かかりつけ医の活用を行うことで、予診の手間を省くことができるなど、個別接種のメリットもあるが、医療機関の負担も大きくなる。医師会などとの調整・交渉はどうなっているのか

答弁 医師会と協議・調整中。安全・安心に接種してもらうために、安定した接種体制の構築に取り組む

質問.7 川崎市の先行訓練を検証する必要がある。予診に時間がかかるという結果を踏まえて、予診票を接種クーポンに同封することや質問内容の検討、密が懸念される待機場所のスペース確保など、準備・検討すべき

答弁 先行訓練の結果を検証し、葛飾区にとって最適な体制を構築する。
その後、予診票の同封を決定

質問.4 ディープフリーザーの配置場所と、非常電源を含めた電源の確保はどうか。また、設置場所から接種場所への搬送方法の検討と、限られた供給量を有効に活用するために、使用人数を逆算した予約受付との連携について、どう構築していくのか

答弁 専用回路を使用して28台配置。搬送は、民間事業者を活用し区が行う。区の割当量を踏まえ、効率的なワクチン接種に努める

質問.8 一緒に頑張ろうというメッセージを発信していくことが、区民の安心につながっていく。改めて区長からの協力依頼を発信していくべき

答弁 区民に呼びかける発信を積極的に行う

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に立ち向かわれている全ての皆様に、衷心より敬意を表します。COVID-19の流行により、今までの生活を今まで通りに送ることができなくなってしまいました。

葛飾区としても、令和3年度予算に厳しい影響が出ており、限られた財源で効率的、かつ効果的な事業展開・継続が求められています。

しかしながら、COVID-19対策はもちろんのこと、生命・財産を災害から守るための危機管理や、次世代にツケを回さないための教育・子育ての充実、立場の弱い方々にしわ寄せがいかないような高齢者支援など、継続して行っていかなければならない事業も多くあります。

議会として、率先して様々な提案・要望を行っていきと共に、必要な施策に対して区行政を後押ししていきたいと思えます。

出来ることは限られているかもしれませんが、一緒に頑張りましょう!

うてな英明 活動記録



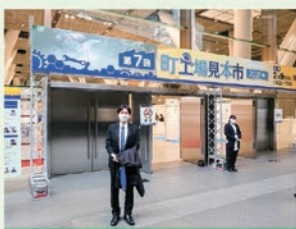
2020年12月27日
歳末警戒 参加



2021年1月15日
新型コロナウイルス(COVID-19)緊急要望書(第3弾)提出



2021年2月9日
第7回 町工場見本市2021 出席



プロフィール

学歴

- 昭和53年(1978年)5月生まれ
- 葛飾区立南綾瀬小学校卒業
- 渋谷教育学園幕張高等学校附属中学校卒業
- 渋谷教育学園幕張高等学校卒業
- 成城大学法学部法律学科卒業

職歴

- 株式会社 ぎょうせい(出版社)入社 教育図書担当に配属
- 株式会社 日本教育新聞社に転職 教育の専門新聞社で勤務
- 前衆議院議員 武正公一の秘書を経て
- 2009年11月 葛飾区議会議員に初当選
- 2013年11月 葛飾区議会議員選挙において次々で落選
- 4年間の浪人生活を経て
- 2017年11月 葛飾区議会議員に2期目当選

現在、保健福祉委員会、都市基盤整備特別委員会、議会運営委員会、空家等対策協議会などに所属



2 子育て支援について

公の担う役割をしっかりと見据え、 利用しやすいように様々な工夫をすべき!

質問.1 子育て支援施設の整備方針として、保育園の民設民営への移行とそこで生み出した財源の活用を進めるとあるが、改めてどれぐらいの財源規模になると想定しているのか。その上で、子育て世代包括支援センターである子ども未来プラザを一層充実させるために財源を活用すべき

答弁 100人規模の公立保育園を民設民営に移行すれば、約1億円の財源効果。有効に活用する

質問.2 子育てひろばの再編を進める必要がある。利用率が低い場所での利用率向上の工夫や使用用途の転用などを検討し、利用率が高い公立施設の中に設置された子育てひろばの一層の充実を進めていくべき

答弁 再編も視野に入れつつ、地域全体の子育て支援を充実させていく

質問.3 ネウボラは定期的に検証と再構築をし、より一層子育て世代への支援を充実させていく必要があり、その情報を収集するアンテナ機能も、子ども未来プラザで担うべき役割として求められている。情報の収集と定期的な検証・再構築について、どのように工夫をして実施していく

答弁 常に子育て世帯のニーズを把握し、事業の改善に活かしていく。現場の職員とともに事業の検証を行って、今後の運営に活かす

質問.4 子育て家庭等から保育サービスに関する相談に応じ、地域における保育所や各種の保育サービスに関する情報提供や利用に向けての支援などを行う『保育コンシェルジュ』について、より身近な場所で相談をするというコンセプトからも、子育て世代包括支援センターである子ども未来プラザに配置すべき

答弁 早期にアドバイザーを配置できるよう検討

質問.5 その際には、保育サービスの知識を有し、再雇用の活用を進める等の観点から、保育園長のOBOG等、経験がある人材を活用するなど、人材の工夫も併せて検討すべき

答弁 これまでの経験が生かせる職場の一つとして、検討を進める

質問.6 巡回バスなどを活用した保育施設等の利用を実施するために、こども送迎ステーションを検討すべき。課題はあると考えるが、検討を進めていくことで、保育ニーズに対応する方法を模索していく必要がある

答弁 有効な事業であると認識するとともに、課題もあると考える。今後も模索していく

質問.7 体力面においての幼保小連携について、更なる深化を進めてほしい。私立の幼稚園・保育園にも投げかけ、葛飾区の子ども達が小学校1年生になるまでに到達しておいてほしい基準を模索するなど、葛飾区の子ども達をどう育てたいかという大きな観点で捉えて取り組んでいくべき

答弁 「かつしかっ子就学前カリキュラム」をまとめ、令和3年度から活用。今後も、幼保小連携の充実により、子ども達の体力向上が図れるよう取り組む



3 堀切菖蒲園駅周辺のまちづくり

商店等への配慮をしながら暗渠を解消し、 駅周辺を一体的に整備すべき!

質問.1 令和2年11月17日に京成本線荒川橋梁架替に係る事業調整協議会が開催され、京成本線荒川橋梁の事業進捗が目に見えるようになり、機運が高まってきた。この機を逸することなく、様々な仕掛けを行い、より多くの方々の知恵を集め、一層機運を高める工夫と災害に強いまちづくりを進めていくべき

答弁 駅周辺まちづくりに関する勉強会の再構築、密集事業の4丁目での用地折衝など、様々な事業を活用し、取り組みを進める

質問.2 駅舎の老朽化、線路に関する騒音など地域から対策を求める声がある。他にも、橋梁の架け替えが進めば高架・土盛りの切り落としによる新たな空間の創出と活用が考えられる。地域の声などを含めて交渉・申し入れを京成電鉄に行うべき

答弁 地域の声をしっかりと受け止め、引き続き、積極的に連携・協力を要望

質問.3 ペDESTリアンデッキや自由通路等を使った立体道路制度を活用し、人工的な高台を創出することによって水害時に避難できるスペースになるなど、まちづくりの可能性が広がる。令和元年台風19号を経験して、荒川の氾濫と水害の危険性を再認識した今、改めてこうした避難スペースをつくることは、駅に避難という明確でわかりやすい避難場所・避難認識をつくるためにも一つの有効な方法である。また、下の空間を活用し、バス停やタクシー乗り場など必要とされるものをしっかりと配置していくことができるのではないか

答弁 人工的な高台の創出は重要と認識。水害に際して、建築物の上層階への避難スペースの確保や想定される浸水深よりも高い位置にある道路や通路等の拠点で線的・面的につなぐなどの「高台まちづくり」を推進するため、さらに検討を深めていく

質問.4 都市計画道路補助109号線に隣接した水路敷上の建物の物件調査について、都道の歩行空間幅を進める際、既存の商店等への様々な配慮をしながら、できる限りスピード感をもって問題の根幹となっている暗渠の解消を進めてほしい

答弁 関係権利者の生活再建に配慮しながら、より丁寧な話し合いを進め、安全・快適な歩行環境の確保に積極的に取り組む

質問.5 暗渠の課題が解消すれば、駅周辺を一体的に整備できる可能性が出てくる。条件をクリアしていくことで、再開発までも視野に入れた全体の検討ができるようになってくる。現在、まちづくり推進協議会の皆さんが取り組んでいることは承知しているが、より大きな視点での検討も進め、駅周辺全体を一体的に整備すべき

答弁 まちづくりの機運醸成を行い、西の玄関口となる堀切菖蒲園駅周辺に相応しい街づくりの実現に向け取り組む

質問.6 駅周辺を一体的に整備するためには、駅周辺の地権者との話し合いはもちろん、区有の施設や土地も有効活用していくべき。堀切地区民事務所・堀切地区センターが駅周辺に位置し、区民サービスの提供拠点として活用されている。駅周辺を一体で考えるときに、公共施設を所有する一地主権者として、区も積極的に参加していくべき

答弁 地域の方々とともにまちづくりを進めていく立場として、また、地区センター・区民事務所の所有者として、今後も積極的に参加し、検討していく

うてな英明 事務所

ブログ・フェイスブックで
活動報告更新中!!!

うてな英明 | 検索

連絡先: 〒124-0006 葛飾区堀切5-48-5

e-mail: info@hideaki-utena.com

HP: http://hideaki-utena.com

TEL&FAX: 03-3690-8320